

## 授業科目

## 介護特論II

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	1・2	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## 授業の概要

高齢者の生活を考えたとき、常に要介護者という固定的なイメージをもちがちである。また、認知症になったり障害を持つことによって社会的な活動（特に働くこと）を諦めなければならないと考える風潮も強い。それで良いのだろうか。本科目では、高齢者の社会的な力量に焦点を当てて、社会活動や労働、生きがいについて現状やあり方について検討を行い、これからの社会における高齢者の役割について考える。また、高齢者の力を高めるための介護計画について事例を用いて検討を行う。

## 授業の目的

1. ケアマネジメントの源流と進歩について、ストレングスの視点から学ぶ。
2. 高齢者の就労など、生き甲斐や社会参加について支援が行えるようになる。
3. 高齢者の社会参加と生き甲斐についての社会の潮流を分析する。
4. 高齢者の社会参加を実現するために必要な要素について考察する。

## 学習目標

1. 高齢者のストレングスに注目した介護計画とどのようなものかを理解して説明できる
2. 低所得者の所得保障するための就労支援を考える。
3. 高齢者の生き甲斐とはどのようなことか、それは就労とどのように関わっているかを、文献をもとに考察する。
4. 高齢者の社会参加の現状を事例を通して認識し、日本社会において今後はどのように実現されるべきかを考察する。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	我が国における高齢者介護の自立支援に関するケアマネジメント理論・アプローチの考え方について（講義・演習）→平成6年高齢者介護・自立支援システム研究会の報告書を用いて、我が国における高齢者介護の自立支援の考え方について議論する。また、地域活動・ボランティア活動を通じた社会参加のあり方（演習）→高齢者が生きがいをもって社会参加するには、どのような視点や支援が必要であるのかを検討する。	講義・演習
2	自立を支援するケアマネジメント理論・アプローチの成り立ち・起源について（講義・演習）→白澤正和の初期のテキストを用いて、自立を支援するケアマネジメント理論が、その時代の介護に与えた影響について議論する。	講義・演習
3	認知症高齢者やその家族へのケアマネジメント理論・アプローチ～問題点と家族の生活～（講義・演習）→認知症ケアをテーマとした論文を読み、認知症についての医学的、心理的、社会的な問題や、認知症患者とその家族の生活について議論する。	講義・演習
4	認知症高齢者やその家族へのケアマネジメント理論・アプローチ～ケアマネジメントのあり方～（演習）→認知症ケアをテーマとした論文を読み、認知症ケアにおけるサービス、制度、社会資源をコーディネートするケアマネジメントのあり方について議論する。	講義・演習
5	障害高齢者やその家族へのケアマネジメント理論・アプローチ～施設利用者とその家族の現状と課題～（講義・演習）→施設利用者の事例をもとに、障害を持っている利用者本人や家族の置かれている状況について議論し、支援の在り方について考察する。	講義・演習
6	障害高齢者やその家族へのケアマネジメント理論・アプローチ～実態の考察～（演習）→実際に居宅介護支援事業所を訪問し、所属のケアマネから聞き取った担当利用者への支援や連携の実態について、これまで学んできたソーシャルワークやケアマネジメントの理論を用いて考察する。	講義・演習
7	ケアマネジメント理論・アプローチに基づく介護計画の作成（講義・演習）→実際に居宅介護支援事業所を訪問し、所属のケアマネから、担当利用者への支援の実態を聞き取り、その事例をもとに、自立を支援する介護計画を作成する。	講義・演習
8	作成した介護計画の検証（演習）→実際に作成した介護計画が、実現可能な介護計画となっているか、可能でない場合はどのような点が障害または不足となっているのかを検証する。	講義・演習
9	高齢者就労の実態（講義・演習）→シルバー人材センターのホームページから活動内容を把握し、高齢者の就労実態と所得の状況を考察する。	講義・演習
10	高齢者の所得保証とその課題（講義・演習）→各国の年金制度と所得保障の実態を資料により比較し、日本における高齢者の所得保障の問題についてグループワークをおこなう。	講義・演習
11	高齢者専用賃貸住宅に居住する高齢者の経験と能力の活用（講義・演習）→高齢者専用賃貸住宅居住者にインタビューを行ってこれまでの生活歴を聞き取り、このような経験を活かすためにはどのような社会の仕組みが必要であるかを検討する。	講義・演習
12	デイサービスを利用する高齢者の経験と能力の活用（講義・演習）→デイサービス利用者にインタビューを行ってこれまでの生活歴を聞き取り、高齢者がこれまで培ってきた能力を活かす社会づく	講義・演習

	りについて検討する。	
1 3	生き甲斐と社会参加（講義・演習） →インタビューを行ったデイサービスの利用者の生き甲斐を探り、社会参加を可能とするための支援計画を作成し、実現するための方策について議論する。	講義・演習
1 4	生き甲斐と社会参加（演習） →地域の茶の間でボランティアとして活動している参加者が参加するきっかけとなったエピソード事例をもとに、社会参加するためにはどのような動機があるかを個人・環境両面から考察し、高齢者の社会参加を支援するために必要な資源について検討する。	講義・演習
1 5	地域活動・ボランティア活動の事例検討（講義） →高齢者専用賃貸住宅において、他の入居者のために自分の車を提供して買い物ボランティアを行っている男性のインタビューの内容について、マズローの成長欲求の理論やエリクソンの理論を用いて議論する。	講義・演習

#### 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

#### 評価方法

レポートとプレゼンテーションで評価します。

#### 履修上の留意点

教科書は指定せず、その都度資料を配布する。

演習と事例研究が中心ですので、高い参加意識で出席してください。

この科目は、認定社会福祉士の認定単位の対象となる高齢分野専門科目の「就労/生き甲斐・社会参加（高齢者）」としての1単位を含むことが、認定社会福祉士認証・認定機構より認められた科目である。

#### オフィスアワー・連絡先

講義の際に問い合わせてください。